

観中人権だより

2025年度《No.4》

2025/7/17(木)

観音寺市立観音寺中学校

観音寺中学校では、毎学期に人権学習を実施しています。1年生はことば遣いを題材にした「しまったシール」、2年生は認知症の祖父との生活を綴った「じいちゃん。ありがとう」、3年生はいじめを題材とした「もう二度としない」を学習しました。授業後の感想を紹介したいと思います。



1年生「しまったシール」から

○家では兄にイラついて悪口を言って喧嘩になることがあるから、気をつけたいです。学校では、言っていないけど、家など気が緩んでしまう時に父や兄に悪口が出てしまうので、プライベートの時でも言わないように気をつけたいです。

○これまで言われる側も経験したことがあったし、言う側もしたことがあるので、みんながどちらともにならないクラスがやっぱりいいと思いました。「言う前に言葉を考える」という行動の一つでよくクラスが変わることがあるので、これからはそうしたいと思いました。

○今日の授業で、人が傷つく言葉(悪口)を言う人は軽い気持ちで言っていることが分かったし、人が傷つく言葉(悪口)を言う人自身も周りで見ている一人ひとりが人の気持ちを考えて行動することが大事だと分かった。

2年生「じいちゃん。ありがとう」から

○今私はおじいちゃんを介護したりサポートしたりしているので、感謝の気持ちを忘れずに、今まで幸せにしてくれた分、幸せにしたいなと思います。それと、残された大切な時間でたくさん話して笑顔にさせたいと思います。また、おじいちゃんだけでなくおばあちゃん、町の人、近所の人で困っている人がいたら率先して助けるべきだと思いました。

○これまでは高齢者やおじいちゃん、おばあちゃんが何か間違いや何回言っても分からなかった時にイライラして少し怒ったり強く言ったりしてしまっただけで、これまで大切にしてくれたので、感謝して接していきたいです。

○自分たちと高齢者では、時間の流れや考えの違いがあるから、お互いに認め合うとともに、残り少ない命で楽しく生きられるように、大切にしようことが大事だと思いました。居なくなった後、後悔しないように精一杯思いを伝えたり温かい時間を過ごしたいです。

3年生「もう二度としない」から

○いじめをしてしまうと被害者も傷つき心に残ってしまうけど、加害者もこんなことをしてしまったという後悔と罪悪感が残るので、どちらにも悪いことしか起こらない。やっぱりいじめは絶対にしてはいけないことだと知らされました。この授業から、私もクラスの雰囲気をもっと良くするためにつくそうと思いました。

○いじめは、してもされても一生心に残るものだと思います。謝るぐらいなら最初からする必要もないし、している時は楽しいかもしれないけど、後悔の方が大きいと思いました。

○私は、つらいことがあると母に相談していて、それでも分かり合えなかったら、自分で心の中にためてしまうタイプなので真由美さんみたいに思ったことを行動に移すような強い人にすごく憧れました。それに、普段明るくて元気な人を暗くしたり、それを楽しんでしまったりするのは本当に良くないと思いました。

○僕は、真由美さんの行動はとても勇気がいると思った。それにいたずらをするとかまで悪化してしてしまったのはとてもやり過ぎだと思った。もし、自分がその一歩手前までいっていたとしても、そのようなことは絶対にしないだろうなと思った。改めていじめは絶対にあってはならないものだと思います。